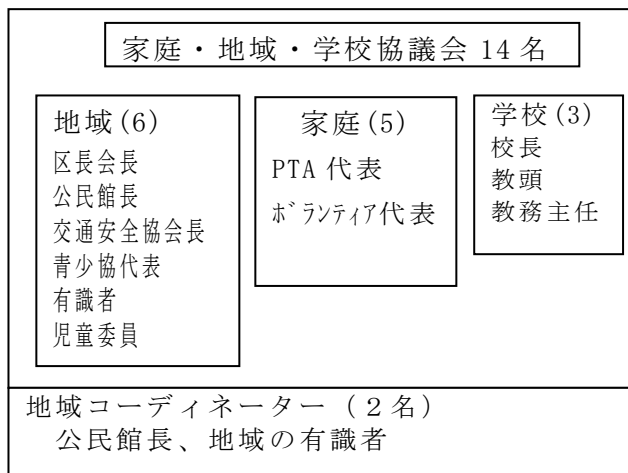


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- | | |
|---|--|
| ① | 開催回数 3回 |
| ② | 開催日程
・ 6月13日(木)
・ 10月16日(水)
・ 2月27日(木) |
| ③ | 協議内容
・ 地域家庭・地域・学校相互の連携
・ 学校評価
・ 児童の安全安心 |

(3) 協議会における成果と課題

家庭・地域・学校協議会の開催時刻を午後3時からとしたことで参加人数が増えた。防犯の目的で行っている児童対象の「ひまわり教室」を保護者と一緒に参加してもらうことで保護者の意識を高めたい。また「ノーメディアデー」や「吉川スマートルール」の取り組みを連動させて家庭や地域の協力を得ながら指導を継続していく。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

児童たちが、吉川地区・鯖江市の課題を改善する体験学習(ふるさと学習)を実施することで、地域に愛着をもち、主体的に行動する児童を育てる。

(2) 活動の実際

① 吉川地区の行事や祭りを体験し、祭りを盛り上げよう。(4年生)

吉川地区公民館の取り組みとして始まった吉川キッズの活動を引き継ぎ、地域の活動に参画し、地域やまつりを盛り上げた。自分たちで工夫した、かかし神輿を作成して、祭り当日に神輿を担いで、祭りを盛り上げた。



② ふるさとじまん（５年）

吉川地区を調査し、地域の産業や環境、地区の工場や施設、歴史や文化財を教えていただいたり、調査したりした。調べたことを模造紙にまとめ、各クラスで発表し、発表後は廊下に掲示した。



③ 鯖江市の産業や文化、歴史を調べ発信する。（６年生）

鯖江市の文化や環境、生活、産業など、地域の特徴を調査し、自分たちのふるさとへの思いをパンフレットやペナントにまとめた。学んだことを学校公開日に全校児童、保護者の前で発表した。パンフレットは保護者に持って帰ってもらい、ペナントは廊下に掲示した。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

地域コーディネーターの活動概要

- ・吉川ふれあい祭り（かかしみこし）指導・協力
- ・合宿通学指導
- ・吉川きっずへの入団、活動指導・協力

(4) 特に工夫した事項

- ・環境学習の一環として古新聞やペットボトルのキャップを使ってみこしを制作した。
- ・ペナントやパンフレットを作ったり、全校児童、保護者の前で発表したりして、学習した内容を発信した。

(5) 成果と課題

振り返りアンケートの結果では、吉川地区や鯖江市のことを調べたり伝えたりする学習に、すすんで取り組んだ児童は84%であった。児童が調べ活動をする事やたくさんの地域の方から学ぶことで、地域に目を向けることにつながっている。現在のふるさと学習年間計画では実情に合わない部分があったので、年間計画を見直し、児童自らが企画提案できる内容を増やすことで、進んで取り組む児童が90%を超えるようにしていく。